



ウドの栽培畑



1本1本太くて長いウド



「栽培したウドは『生』が一番」と敬光さん。

## 五

日市町内へ帰ってきて、みこしは、各家々を回ります。しばし休憩しようとする車に乗り込んで一服していると、「良かったらこれ食べて」とおせんべいを差し入れてくれたのは**畠山敬光さん**(五日市)。すみませんと恐縮しながらいただく、こりゃ、おいしい。ふと作業中の手元を見ると、直径3cm程の太いモノが…。好奇心がムクムクと頭を持ち上げ、早速尋ねると、「これ？ これはウドだ。俺が栽培してるんだ。生のままで食べられるよ」エッ！ 生のままでですか。実は、大学生までセロリがダメだった私。今は克服し、山菜で一杯というのが好きですが、それにしても生のウドですか?! 丁寧に皮をむいていただき出されたんじゃあ、いただくしかないでしょう。「ポリッ」。ウッ! うまい。全然平気どころか、とってもおいしい! 「十年以上前からウドを栽培してる。生のままで食うのが一番だ。ウドは捨てる所が無くて、皮はキンピラ、葉っぱはてんぷらにして食べる」。カリッと揚がる、上手なてんぷらの揚げ方まで教わっちゃいました。お知りになりたいかは、広報まで。それにしても、ちよつど良い所で休憩したもんだと、自画自賛?!

歩いて会って何でも話す  
ワクワクの突撃取材

# あつてグッド

市民の皆さんが  
たくさん登場

これまでの  
登場者数 401人

83,058人  
(H19.5.1現在)

「あつてグッド」は、歩いて行くの方言「あつてえぐ」と会って良かった(グッド)を掛け合わせもじったものです。

## み

こしはやつと終了。皆さんは会館に集まって昼食会でした。お話しを

伺わなくちゃと様子を見ると、片手におにぎり、片手にサンドイッチでモリモリ食べている子を発見。鈴木隆盛さん(五日市)と

駿輔くん、頼盛くんの親子でした。両手で持って食べていたのは頼盛くん。「自分もやってきたものを、子供たちにもやらせたいし、地域のつながりを大事にしたい」とお父さんの隆盛さん。

3 人のお子さんがいるのは**畠山栄悦さん**(五日市)、**恵美子さん**、**昂大くん**、**紗佳さん**、**大知くん**の一家。恵美子さんは扇田からこちらにいらしたそう

で、「扇田は山車なので、おみこしはまた別の楽しさがある」っておっしゃってました。栄悦さんは、おみこしの間中、紗佳さんをおんぶにだっこ、とっても大変そうでしたが「子供たちに楽しい思い出を残してやりたい。せめておみこしをやつて、お祭りついでというものを残したい」と。

地域の行事ついでやっぱり必要だなあつて思いますが、

大人になつても記憶のどこかに残つてませんか。では、次回は「たけのこ祭り」で、あつてグ

グッド!

グッド!

グッド!

グッド!



左から頼盛くん、隆盛さん、駿輔くん。



左前から大知くん、栄悦さん、紗佳さん、昂大くん、恵美子さん。

皆で元気に記念写真

